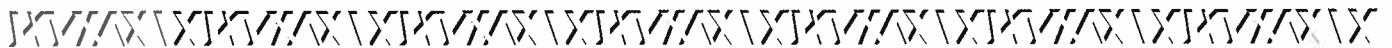


しらかば

発行

〒399-0214
 長野県諏訪郡富士見町落合9507-1
 社会福祉法人 清明会
しらかば園
 発行人 大島良彦
 TEL (0266) 62-7088
 FAX (0266) 62-7062
 URL <http://www.shirakabaen.or.jp>
 E-mail info@shirakabaen.or.jp



平成29年度を迎えて 新年度のご挨拶

そもそも社会貢献とは？

社会福祉法人清明会 理事長 小口 国之

平成二十九年度、いよいよ社会福祉法人制度改革元年がスタートしました。

勿論「頑張ります」が、どこか矛盾を孕んで少々強引な印象は拭えません。曾て社会福祉の代名詞だった措置を契約に代えた時代、多くの社会福祉法人が疲弊し、その付けは利用者へと向けられる結果になったのではありませんか。そもそも社会貢献とは何なのでしょう、「世のため人のために為すおこない」なのでしょうが、先代理事長が社会福祉事業を始めるために私財を投じて漸く社会福祉法人の認可を受け、地元住民の反対他、万難を排して始めた、第一種社会福祉事業、イコールフットィングと仰いますが一般企業の先行投資と私財を投じるこの違いはどうなのでしょう。同じ要介護高齢者のオムツ替えを営利目的でそれをすれば課税、社会貢献事業で行えば無

税、支払いを免れた税金が内部留保ということでしょうか。

そもそも介護保険がスタートしたとき、社会福祉法人だけでは事業者が絶対的に不足するからとの理由で一般企業に社会福祉事業への参入を認めた時に論じられるべき問題ではなかったのでしょうか。参入する一般企業だってそれは承知の上、勿論内部留保が私的な資産だ等と考える社会福祉法人があるはずもなく、況んや一般企業だって社会福祉法人との違いは承知の上で介護事業に参入してきたのではないのでしょうか。何故、今、駄馬の尻を叩くが如く「自分で考え、行動を起こしなさい、評価はお国がいたします」「基準は世論の反応です」、「低所得者に低額若しくは無償でサービスを提供」。

愈々国の責務であるはずの社会保障が丸投げされる、民間委託の時代が来るのか。

「貧困ビジネス」に「なめんなジャンパー」どうも社会貢献が社会福祉ではなく、社会保障で論じられるようになるのでしょうか。

未来プロジェクトにご期待下さい。

しらかば園 施設長 大島 良彦

平成二十九年度が始まります。

しらかば園でも、昨日と変わらない景色が昨日とは違う思い出を作り続け、二十七年過ぎました。平成二年、十九歳で、貴方の意思とは関わりなく、児童施設から大きな不安と小さな期待を抱えて来られた利用者も四十七歳です。五十二歳で入所された方は八十路です。時代は変わり、制度が変わり、「今どんな気持ちですか」「自分であり続けられましたか」「これからどうしたいですか」教えて下さい。

「しらかば園未来プロジェクト」なるものが動き始めました。これは平均年齢五十三歳、最高齢八十一歳の利用

者の皆さんに、高齢になられたからこそ、「今貴方は何をしたいですか」「どのようにしたいですか」を改めて問い直す試みだと思います。例えば、「九時に朝ご飯じゃいけないの?」「九時に起床じゃいけないの」「皆と一緒になくていいからもっとゆっくり丁寧にご飯を食べさせてよ」「時間なんてどうでもいいから、お風呂は一人でゆっくり入りたい、優しく丁寧に洗ってほしいの」「作業で何をやってらいいか分からないからって、取りあえず、大型バスでドライブは嫌」、勿論、「グループホームで生活したい」や「寂しいから入所施設で二人部屋がいいの」等もありではないでしょうか。余生をどう過ごして頂くかを考えることともちよっと違います。パーソナル支援の限界を求めて丁寧を追求する。生活棟のあり方、構成員から支援者の一挙手一投足まで話し合い、見直し、考え、作り直しましょう。

目指すは親愛なる利用者の自律生活支援。

平成28年度 ひやり・はっと 及び 事故報告書

種別	事故	ひやり・はっと	通院	家族連絡
転倒・転落		2		
外傷	11	5	9	9
誤嚥・誤飲	1			
異食				
無断外出				
食中毒				
火傷				
感染	1		1	
誤薬	2	1		
未投薬	2	4		
介助ミス	1	7		
薬未チェック		2		
金銭				
破損・紛失				
利用者間トラブル	3	7	2	2
発作				
報・連・相ミス		1		
その他	7	5	4	4

発生場所	件数
居室	9
ダイルーム	19
階段	
トイレ	3
食堂	6
風呂場	3
体育館	
支援員室	4
園外	8
外出先	2
公用車	1
その他	7

※ダイルーム内では、ご利用者様が他のご利用者様が所持している物に固執し、他傷行為の対象となることが多い。一ヶ所に集うのではなく、個々の活動を充実していくことで再発防止に繋げていくことを検討している。

主な事例

入浴時、車椅子を利用されているご利用者様を介助者が移動させている際、バランスを崩して一緒に倒れてしまい、足を打撲させてしまった。

対策

2名以上で介助を行うこと、介護技術の研修を行い介助方法の統一を図る。

平成28年度 苦情受付報告

項目	件数	主な内容と対策
支援内容		
職員		
他利用者		
設備・環境	2	工事の残土が、近隣の方の土地に放置されている。工事会社と近隣の住民の方との連絡ミス。工事関係者からの謝罪と共に謝罪した。
その他	4	公用車が急にハザードをたいて止まりバックしてきた。急ブレーキをかけて止まったがとても危なかった。ご迷惑をおかけしたことを謝罪。駐停車するときは、後方をしっかり確認することを徹底した。

施設サービス点検整備調整委員会(オンブズマン)

面談社	件数	事例
ご利用者	13	グループホーム内の同居者とのトラブルについて
職員	20	ご利用者様への粗暴な行為について

生活支援部長からのコメント

人は人に支えられ、そして人を支える

生活支援部長 岩崎 誠

この諏訪地域にも多くのラーメン屋さんがある。数年前からのラーメンブームもあり、様々な経歴の方がその担い手となっている。人はその一杯のラーメンを恰も評論家のように一言二言で評する。それに対し当然のことであるが、作り手側の方が少ない。『仕事』において、「評する側ではなく、創り手側にならなくてはいけない」と常に肝に銘じている。美味しい一杯のラーメンを創り出すことはとても難し

い。はっきりしていることは、評しているだけでは決して相手の納得するものは創り出せないということ。人は人によって教えられ、人に伝えて自分を知る。創り手側になり、支える側になるには謙虚さを忘れてはいけない。

支援者たるもの謙虚であれ
人は人によって必ずかわる。

しらかば園未来プロジェクト

▶親愛の里松川にて職員研修をしてきました。



西棟生活支援相談員 林 一夫

昨年の12月19日、しらかば園未来プロジェクトチームが発足しました。各棟より2名の代表職員が集まり、今後のしらかば園の支援の在り方を考えていこうという集団「しらかば園未来プロジェクト」が立ち上がりました。その名の通り、ご利用者様が高齢化していく中で、今後10年・20年先の園の在り方、支援の仕方を

見直していこう、またご利用者様には年齢に添った生活を過ごして頂くを基盤に今までの良い点は存続をし、変えていかなければならない所は見直しをしていこうと考えています。

現在は活動の一環として、他の福祉施設見学を行う等、職員の視野を広げると共に、今後もしらかば園はご利用者様にとって、安心して居心地の良い居住の場を目指し職員一同、一丸となって邁進をしていきたいと考えております。



▲洗濯室での洗濯のやり方を学んでいます。



▲食堂において一連の流れを学んでいます。

クリスマス会

東棟2階生活支援員 内田 長弘



▲皆で楽しい、レクリエーションプログラム。真似してね。
▲しらかばロックバンドだ。一緒に踊ろう イエーイ!!

今年度のクリスマス会は例年度のOTに加え、利用者様の年齢を考慮してDVD鑑賞を盛り込みました。全身を使ったレクリエーションプログラム。クリスマスソング、大玉送りご利用者様皆様、喜んで頂けました。

また、午後のプログラムでは職員有志による生バンド演奏に体を使ってリズムを取られたりする利用者様もいらして、楽しい時間を過ごされた様です。

来年度は各棟での実施で大掛かりな催しは今年度が最後になりましたが、来年度は各棟で規模は小さいながらも楽しいクリスマス会が出来る様に努めて参りたいです。



◀もっと高く天まで上げれ。風船ポン、ポン。

どんど焼き

東棟1階生活支援員 濱 顕裕

今年も快晴の中、どんど焼き・厄投げ・還暦祝いを無事行う事ができました。今年は感染症の流行を考慮し、例年行っていた餅つきは行わず、その代わり



▲汗がたらたらと出てきそうな程、真っ赤な炎が燃え盛っています。

として地域よりお借りした獅子を使った獅子舞を皆さんの前で披露しました。どんなリアクションがあるのか楽しみであり不安ではありましたが、皆さんとても楽しんで頂いたとの事で初の試みではありましたが、挑戦してみて良かったなと思います。今年度の行事は以上となりますが、来年度の行事でも新しいことに挑戦し、利用者の皆さんが今まで



以上に楽しんで頂けるものになるよう努めていきたいです。

◀待ちに待った厄投げまだかな。今年も袋バンバンになる程たくさん拾うぞ!!

LS活動内容紹介



▲園正面玄関付近を綺麗にしました。

ローカルサポート生活支援員 木下 久善

LS部では今年度、【個別支援】を重点的に行っています。年度当初は『全員で一斉』に散歩に出掛ける等、集団活動を多く行っていました。個々の利用者さんの年齢やニーズに応じた活動をしています。利用者さんと職員が一緒になってボール遊びや清掃活動を行う中で各利用者さんのニーズや好みをみつけていく事ができました。清掃作業と一言で言っても、機械を使いたい、一輪車を使いたいといったように各利用者さんでニーズは異なります。LS部では今後もやる事を見つけては、“やってみる”活動を通して利用者さんと環境(地域)の相互に関わっていきたいと考えています。



▲寒い時期でも散歩します。



▲日課で1日に2、3回行います。

園務日誌 (12月~3月)

- ◇12月15日 安全運転研修会
- ◇12月24日 クリスマス会
- ◇12月27日 非常通報訓練
- ◇12月29日 年末年始帰省
- ◇1月10日 どんど焼き、厄投げ大会
- ◇2月27日 てんとう虫班新年会
- ◇3月2日 消防設備点検
- ◇3月3日 東棟2階冬のハイキング
- ◇3月8日 紙風船班外出
- ◇3月12日 保護者総会・懇談会

謹んで感謝し、ご報告申し上げます。(12月~3月)

ご寄付 (敬称略)

遠藤多美子、永井 利枝
カトリック富士見教会、小松伸一郎

計 85,800円

*平成29年1月16日発行の機関紙において、川窪純光様 ¥10,000とありましたが、¥30,000の間違いでした。お詫びすると共に訂正させていただきます。

ご寄贈 (敬称略)

勝和自動車	りんご、みかん
株式会社イツミ	コーヒー
春本 紀子	みかん
株式会社伊藤園	お茶
名取 真子	いよかん

新任職員の紹介

(2月1日~)



西棟生活支援員
瀧みさきさん

(2月1日~)



東棟1階生活支援員
古屋竜人さん

(3月1日~)



東棟1階生活支援員
望月純子さん

異動職員

- ・米谷伸太郎さん
東棟2階生活支援相談員 → 西棟生活支援相談員
- ・守屋 昭美さん
東棟2階生活介助員 → 東棟1階生活介助員
- ・清水 妙子さん
東棟1階生活支援員 → 西棟生活支援員
- ・渡辺 英恵さん
東棟1階生活支援員 → 東棟1階生活支援相談員
- ・矢崎 裕子さん
東棟1階生活支援員 → 東棟2階生活支援員
- ・山田 茂樹さん
東棟1階生活介助員 → 西棟生活介助員
- ・林 一夫さん
西棟生活支援相談員 → 東棟2階生活支援相談員
- ・高木 秀夫さん
西棟生活支援員 → 東棟1階主任生活支援員
- ・樋口 順さん
西棟生活介助員 → 東棟2階生活介助員

退職職員

井出 蒼平さん(12月31日付) 太田麻由美さん(3月31日付)
長谷川昭一さん(2月28日付) 藤本 朋子さん(3月31日付)
近藤 充男さん(3月31日付)

お疲れ様でした。

今後のご活躍と豊かな人生をお祈り申し上げます。